

とと通信

2023年10月20日発行

247号

「とと通信」は、
田舎でとつづ。
いつも読んでいて、
おかげでございませう。

こんにちは！平川です。秋の夜長、虫の音が心地よい季節となりましたが、お元気でいらっしゃいますか。さて今回は、前回の続き、台湾旅行の後編をお届けします。

（前号の続き）台東市から花蓮市へ向かう列車の中で、若い女性が大きな骨付き豚肉に「ガブ」とかみつくのを見て、「どうか、台湾のパワの源は食なんだ」と思いました。きと戦後の日本もこんな感じで勢いがあつたのでしょうか。それから2時間揺られ花蓮駅へ着き、ホテルへ左グイン。少し休んだ後、ワキロ離れたところにあるビーチ、七星潭（チーシタン）へ行きました。ホテルに無料のレンタル自転車があったので、事前にマウンテンバイクを予約していたつもりだったのですが、用意されていなかったのはママチャリ。しかもチャイルドシート付き。さらにサドルを調整するネジがさびて、高くできない。汗だくになって



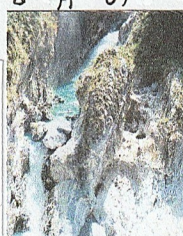
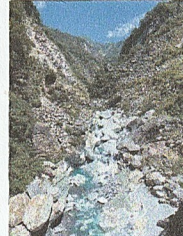
ペダルをこぎ、こんなところでママチャリに乗っている日本人は、きっと私だけだろうな。なんて思ったら突えてきました。七星潭は三日月型の美しい湾で、月牙湾とも呼ばれています。定番のデートスポットでもあり、周りはカップルばかり。早々に引きあげ、夜は花蓮市最大の夜市「東大門夜市」へ行きました。

台湾旅行の楽しみの一つといえば、やっぱり夜市。安くて美味しいB級グルメが楽しめます。台湾には30を超える夜市があります。いつも不思議なのが、台湾人は夕食を家で食べる習慣が無いのか、と思うほど、夜市は毎晩大勢の人で賑わっています。そして行ったことのある人は分かると思いますが、必ずといっていいほど、「うわワサッ、何？今の」と眉をひそめる、ある臭いに遭遇します。そうです。



臭豆腐です。豆腐を発酵液に漬けた食べ物で、独特の風味と強烈な臭いを発します。私も二度だけ食べたことがあります。その時は友達と二皿を注文し、私は一口で「ヤブアッ」。友達が完食してくれました。どれほどすごいと言おうと、日本のJRが止まったことがあるんです。2016年2月、車内にこぼれた臭豆腐の汁が原因で臭臭騒ぎとなり、2時間運転を見合わせ、約40人に影響が出たようです。臭いを例えるなら、台湾の代表的な料理ですので、私の口からはちと、そこでネットに書かれていた感想を紹介すると、「田舎のトイレ、もしくはドブの臭い」とありました。はい、それに近いです。挑戦したくなりしましたが、好奇心がそそられるでしょ。台湾のカップルが、ニコニコ向きあそテーブルに座り、たこ焼きのようにつまんでいるのを見た時は、驚きました。私たちが納豆を好きのように、地元の人にとっては、たまらなく美味しいソウルフードなのです。ちなみに世界の臭い食べ物ランキングでは納豆の方が上。外国人からすれば納豆は足の臭いらしいです。（笑）

そして翌日は太魯閣（タロコ）へ行きました。ここは広くて、絶景スポットが沢山あるので、タクシーを8時間チャーターして案内してもらいました。溪谷を流れるエメラルドグリーンの川、大理石の岩盤を侵食して形成された大渓谷。どこもゾクッとさせる息を飲むほどの景色です。大自然を目の当たりにすると、ちほけな自分を感じるので、普段の悩みが馬鹿馬鹿しくなってきました。そしてドライバーから教えてもらったのがここ。分かりますか？目の前に大きな魚の背が見えます。まるで、鯉が滝を上っているようです。帰りの車中でドライバーが言ってきました。「もし台湾が中国になったら、日本も困ることになると。ひっきりなしに飛んでいる戦闘機を見ると、対岸の火事ではないことを改めて思い知らされた8日間の旅でした。」



発行/有限会社アサム
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
Tel:092-321-4001 Fax:092-321-4002
・専門学校&スクールサーチ : <http://www.asamnet.jp/>
・ブログ : <https://itorinri.com/>